

# 第1回 学校評議員会議

日 時：令和3年7月7日（水）15：00～16：30

場 所：会議室

出席者：石場正樹委員・千代谷均委員・岩月宏泰委員・成田克彦委員・櫻庭武志委員・飯田貴子委員  
和久校長・津島教頭・千葉教頭・船橋事務長・安田教務部主任・和田生徒部主任・福土進路部主任・  
熊谷渉外部主任・亀田図書部主任・宮本保健部主任・村上1年次主任・木村2年次主任・  
岩崎3年次主任・中畑教務部副主任

司 会：津島教頭

記録者：中畑二三雄

配付資料

- ・令和3年度 第1回学校評議員会議要項
- ・令和3年度 第1回学校評議員会議資料
- ・別添資料

内容

1 評議員・学校関係者評価委員委嘱状交付

2 校長挨拶

学校評議員については、学校の教育活動の推進に欠かせないものと考えている。これからも御支援、御協力をお願いしたいとの挨拶があった。

3 学校評議員紹介・職員自己紹介

津島教頭による評議員の紹介と職員の自己紹介があった。

4 学校経営方針等について

校長より資料を基に、経営の重点と方策を中心に説明があった。

5 本年度重点課題等について

別紙資料により、関係分掌主任からそれぞれ本年度重点課題と資料内容について説明があった。

意見・質問等

(岩月委員) C l a s s i とは、コミュニケーションツールのようなものか。

(安田教務部主任) 現在、保護者・生徒に対するアンケート、授業動画配信、2年次が修学旅行に関するアンケートと欠席連絡などに使っているが、今後も使い道を模索していく。

(木村2年次主任) 自由な会話ツールではないが、アンケートや欠席連絡には使っている。

(千代谷委員) 県教委では生徒にタブレットを配付することにした。全国高P連でもタブレットをどのように活用しているのか集計が終わっていない。東高校ではどのような状況か。

(安田教務部主任) 今年度末までに、生徒一人に対してタブレットが1台ずつ割り当てられることになっているが、現在は80台しかない。各教室にはW i f i が設置されたので、教材を共有するといった使い方はできるようになったと思う。具体的に何をどのように使うのかはこれからの検討になる。

(和久校長) ある私立高校では持ち出しは自由であり、壊れても交換することができるようだが、公立高校では持ち出すことを前提にしていない。

## 6 学校評議員から

### 石場委員から

明後日から東高祭が始まる。3年次は修学旅行も東高祭では模擬店もなく、辛い思いをしている。しかし、先生方は芸人さんを呼ぶなど、生徒のために動いている。東高校ではコロナウイルス感染症対策を徹底していることに対して敬意を表したい。挨拶をする、時間を守ることを徹底して欲しい。

### 千代谷委員から

評価を数値化できるような、経営計画の目標を設定した方が良い。自分たちまたは生徒たちの為になるような評価の方が良いと思うので、そのような目標設定にした方が良い。親は学校の中のことについて興味関心がある。ホームページの充実をお願いしたい。保護者への情報提供が少ないと思う。積極的に発信することによってより良い学校を作ることができると思われる。大学も大切だが、生徒を人として、社会人として立派に成長できるよう、長い目で見て関わって欲しい。

### 岩月委員から

各分掌の重点課題と具体的方策について、年度末の成果を楽しみにしている。コロナ禍で行動が制限される中、メリハリをつけた学校行事を考えていることについて感銘を受けた。感染予防対策について興味がある。継続的な指導が必要である。

### 成田委員から

民間企業で採用担当した経験から、キャリア教育の必要性について実感したことがある。早いうちから、社会で働くことについて意識させてもらいたい。

### 櫻庭委員から

生徒ひとりひとりがノートパソコンやタブレットを使えるように教えておく必要がある。Classiなどのツールの使い方についても、自分で判断して使い方をマスターしていかなければならない。リモートが標準的になっているので、ハードウェアの使い方なども重要になってきている。

### 飯田委員から

53回生のときには、とても一生懸命に進路指導して頂いた。東高校の指導方針にはとても満足している。東高祭が思い出に残るようであって欲しい。親も学校の雰囲気を感じたいものである。親の気持ちや学校に向かうような仕組みを考えて欲しい。学校からの便りはとても良いツールだと思う。自習交流室の使える日時を何かで知ることができるようにしてもらえると良い。

## まとめ

委員からの御意見・感想に対して、校長より感謝の言葉があり、第1回学校評議員会議を終了した。

以上